

年 組 名前 :

笛吹・自閉症の小野さん 制作

お礼の手紙が励みに



作品を折る小野晴充さん—笛吹市石和町砂原

折り紙作品贈り10年

【小野さんについて】  
 笛吹市石和町砂原の小野晴充さん(30)は、10年以上にわたって石和図書館に折り紙の寄贈を続けている。図書館は緻密でパリエーション豊富な折り紙を来館した子どもたちに配布。自閉症でコミュニケーションが不得手だというが、折り紙を喜んだ来館者から手紙をもらうこともあり、制作の励みになっている。

【お礼の手紙】  
 小野さんはじっとしていることが多く、初対面の人との会話が苦手な面があり、3歳の時に自閉症と診断された。4歳の頃、「何か夢中になれるものはないか」と母親のひろみさん(62)が折り紙を渡したところ、夢中になって紙と向き合った。動物や昆虫のほか、三十面体など複雑な作品を毎日折っている。

【制作の励み】  
 読書も大好きで、2週間に1度、図書館を訪れていて、折り紙に関する本などを借りて読む。作品を受け取った来館者からお礼の手紙をもらうこともあった。石和図書館以外にも、歯科医院や近隣住民に贈って好評だという。

【近隣住民からの折り紙を頼まれること】  
 近隣住民から折り紙を頼まれることもあり、会話をきっかけになつて折り紙を楽しんでいることに、ひろみさんは「コミュニケーションが苦手でも、折り紙を通して地域の人とたくさん交流が続いている。作品を喜んでもらえてありがたい」と話す。小野さんは「折り紙は、とても楽しい。これからも折り紙を続けていきたい」と笑顔で語った。

【図書館の担当者は】  
 図書館の担当者は「小野さんの作品をきっかけに折り紙の本を借りる人もいます。今後も作品を通じて多くの人を楽しませてほしい」と話した。

(2022年10月19日付 山梨日日新聞22面)

問1

小野晴充さんの10年以上にわたって、図書館に寄贈している折り紙の特徴を書いてください。

.....

問2

小野さんは図書館以外で、どこに折り紙を贈っていますか。2カ所教えてください。

.....

問3

小野さんの母親は、折り紙を贈ることで、小野さんにとって、何がプラスになったと感じていますか。

.....

.....